参考1-1

● 共創チャレンジ素案に対するまちづくり市民委員会の意見

テーマ１：子ども・若者が目標を持ち、自ら取り組むことができる環境づくり

◆ 各グループで出された意見

G	現状と課題	アクションアイデア	理想
1	・こうなりたい！！というモデルに出会う機会がない ・新しい分野に興味をもつことに不安やあきらめがある ・そもそも親世代が新しい分野に興味をもつ環境、ヒマがない（だから子どもも視点が同じになりがち） ・親世代が地域と積極的に関われていない ・親世代が日々の暮らしで疲れているから子どもの夢にも否定的 ・公園での遊び方も制限がある→したくてもできない「制限される」ことがあたり前になっている ・共働き家庭の増加で、親が子どもと接する時間が減っている→子どもの我慢 ・子育てにかかる経済的負担大　習いごとが十分にできない ・糸島市内にどのような種類の業種があるか知らない、もしくは知るすべがない	・教育（妻）と先生にまかせるだけでない組織作りが重要！ ・現在、先生の残業、その他の仕事量が多く、そして保育士が少ない中でどういう組織作りが出来るか ・親が安心して地域に関われる仕組み ・子どもや若者の主体的な居場所づくり→役割をもつことによって『居場所』を作る ・市内の子どもたちの夢実現を応援する団体や個人をネットワーク化し、子どもたちと結び付ける事務局づくり ・単発の講演ではなく、希望する人（仕事、生き方）の話が聞け、その後のアドバイスをいただける仕組みづくり ・子どもの意見や希望を聞くしくみづくり（常にopenしている） ・自習だけではなく、自分のやりたいことができるフリースペースを作る ・現在市内にある居場所のうち夢実現のための場所、機能を持つ場所へプラスの取組を行おうとする場所の支援 ・居場所を作っても知る機会がある ・子どもの権利条約のうち“意見表明”“夢実現”を具体化する組織づくり ・業種ごとに検索、紹介できるサイトを立ち上げる→そのサイトを小、中、高で毎年紹介等をしていく	・大人の笑顔が多い街になる（子どもはそれを見て育つ）
2	・仕事を体験できる機会が少ない ・環境を起こす場→限りある、興味を持つべき分野→１人ひとりにたくさんある ・講演はよく行われているけど、将来を考えるきっかけに直接繋がっている人が増えているかはわからない ・自習ができる施設が少ない ・仕事を体験する所が少ない ・人口自体は増加しているが若者が少ない	・将来の夢が見つかるきっかけになる施設を作る（職業体験ができる） ・自習スペースだけじゃなく、長期休暇に高校生などが教えたりするスペースもあってもいい！ ・若者が興味をもつイベントをつくる ・企業を呼びこむ→工場をつくる ・講演だけでなく実際にその職業を見て、聞いて、体験できるような場を設ける ・自習できる場所が少ない　身近に集まれる場所を作る ・無料版キッザニアを作る（職業体験） ・糸島で働くメリットを発信 ・若者向けにSNSを作り興味を持ってもらう	・様々な進路（糸島での）を明確に想像できる環境ができている ・選択の幅が広がっている ・「糸島が大好き」と思ってもらえる！ ・将来に対する夢や希望の選択が多く持てる環境 ・進路実現のために動き出すころには将来像が決まっている ・子ども、若者が将来に不安を持たない（みんな将来を決めている！） ・糸島で様々な仕事ができることを多くの人に知ってもらう ・将来への選択肢が増える ・何でも挑戦しやすい支え人があればいいと思う（若者の夢、おうえんプロジェクト的な） ・職業の幅が広くなる
3	・公園が少ない　ボール遊び禁止　遊具もない ・身近なコミュニティ環境が整っていない ・子ども同士が交流できる場所を！ ・学校で活動、交流する機会が減った ・子だけでなく保護者間の交流ができる環境も必要 ・環境があっても十分に広報ができていない	・交流場所は気軽に参加、ゆるくできる ・色んな経験、体験ができる環境づくり ・体験活動等の発信の協力（幼稚園や保育園との連携など＋民間） ・子連れに優しいカフェ　キッズスペースありとか	・子どもだけでなく保護者の方も楽しめること

◆ グループとしての意見

G	現状と課題	アクションアイデア	理想
1	・親の意識改革	・市のWi-Fi ・子どもの習い事助成 ・親が糸島に住んでよかったと思える安心感	―
2	・仕事に対する興味、関心がなく、実際に就ける職が少ないから若者が少ない	・糸島で就ける職業のメリットをSNSで若者向けに発信する　実際に体験できる場を設ける	・進路に向けて動き出しているころには自分の将来の様々な選択肢を持てる、想像できる
3	―	―	―

参考1-2

● 共創チャレンジ素案に対するまちづくり市民委員会の意見

テーマ２：日本人も外国人も、安心して暮らすことができる共生のまちづくり

◆ 各グループで出された意見

G	現状と課題	アクションアイデア	理想
1	・技能実習生や日本語学校の学生たちが、どう思っているのか（生活するにあたり）耳をかたむけてみる必要があるのではないか ・短期在住の人、永住の人それぞれ思いが違うと思うので、この点は整理すべきだと思う	・あいさつ奨励 ・交流を大切にする 　1　日本語を教える場を築く 　2　公民館を活用しEVENTを開く（外国人参加） 　3　日本での生活ルールをパンフレットで外国人に宣伝 ・ランゲージエクスチェンジ交流会を行う ・山に登って話すと意外にコミュニケーションがとれる ・日本人が持つ意識（外国人やけんという考え方）を変えるべきだと思う ・交流できるツアーや文化行事への参画など文化の違いをお互い理解するべき ・外国語表記の案内看板、パンフレット等が必要ではないか ・アニメ等をみんなで見て楽しむ	―
2	・2025年春着工予定のアジアパシフィックランド（APL←データセンター）についての情報がもっとほしい ・災害時の外国人の受入れ　外国語が話せる人がどれくらいいる？ ・糸島のどのエリアに外国人が多いのかと、どんな職業についているのか ・中学校の制服リサイクルに外国のご家族が来ていた 　・制服（高額、名前の刺しゅう） 　・情報（制服リサイクルに機会） 　・つながり ・本当はいろんな人と交流してみたい（ヒアリング） ・「移住者」＝「よそ者」　13年前に糸島に移住してきたが、いまだに地域では「よそ者」あつかい　「外国人」と同じ感覚がある ・町内会に加入したが、加入＝地域の神社の神子にさせられたり、厳密に言えば憲法違反ではないか ・地域に暮らす外国の方とつながる機会がない　行政区の役員でも話題、視点がなさそう ・同じ国どうしの人にどうしても相談することになり広がらない（ヒアリング）	・市が用意している外国語の表記（ゴミ袋など）をお店に貼ってもらうようにはたらきかける ・制服はいらない！ ・ゴミ袋に何を入れてよいか絵をデザインしておく ・「筑前前原駅」を「糸島駅」に　ITOSHIMA	・糸島の情報がどれくらいの言語バージョンであるのかLINEなどで発信

◆ グループとしての意見

G	現状と課題	アクションアイデア	理想
1	・講座を募集しても中々集まらないので、集めるための仕掛けが必要だと思う ・マスコミの影響もあると思う　誤解が生まれる　そのために理解し合えるための意識改革、交流は必要である	・外国語を学びたい日本人と、日本語を学びたい外国人とのマッチング交流、会話の教習をしてはどうか ・日本人に対して外国語講座の実施（格安で） ・外国人に対して日本語教室の充実をするべきだと思う ・外国語表記の看板とか店のメニューとかがあればコミュニケーションが取りやすくなると思う ・ボランティアの受付窓口を公民館レベルでも設ける ・お互い「あいさつ」をする ・日本の文化、習慣、ルール等を記載したガイドブックを作ってはどうか ・外国人向けに市内のお店や病院を紹介する場所やSNSの発信などをしてはどうか ・地域の公民館等で外国人向け講座をしてはどうか ・病院（身近な）の場所、内容を示すガイドブック（英、中、韓等）を作ってはどうか	―
2	・外国人が糸島で住める場所は？ ・「日本人」と「外国人」に「移住者」のジャンルを加えてほしい	―	―

参考1-3

● 共創チャレンジ素案に対するまちづくり市民委員会の意見

テーマ３：地域農業環境維持の仕組みづくり

◆ 各グループで出された意見

G	現状と課題	アクションアイデア	理想
1	・労働力の確保　IT化　テクノロジー化　自動草刈機、ドローン等	・農家さんの法人化　効率化の支援 ・市民が農業に興味を持ち、関わりたくなるようイベント化する（例：赤米田植え） ・農家以外の人が農地の保全活動（草刈り等）に参加するメリットの創出　地域通貨 ・担い手不足について法人化できるように市からの補助金などシステムを作って欲しい ・農業体験が出来る仕組み作りをする ・糸島のブランドを市民に考えてもらい「何か？」ブランド化を考えていく ・市民が参加しやすい制度（しくみ） ・ポイント ・地域通貨 ・インセンティブ　等 ・冬はカキ小屋が糸島のブランドになった　この経験を生かして農業にアドバイスできないのか	・草刈や水路清掃の意義とは？自然や景観の保全との関連性とは？ ・雇用については法人化することによって雇用が増えると思う ・糸彩で農業体験ができるようなイベントがあるのでしょうか？定期的にできれば良いと思う
2	・国にかして→農業法人　ない地域個別は契約 ・法人　何人かいてグループを立ち上げて農業法人 ・農業法人→かりあげてつくってもらう　就農される方も	・しくみづくり　集めて興味ある人　研究会→話し合う ・川をコンクリートでうめないで！！砂が大切 ・横のつながり　法人同志でもまわせたらいい ・よろずしえんきょてん　佐賀の責任者 ・経験がない　移住者　しくみ作り　設備　キカイ→ハードル ・山も大切　山があるから水ができる ・しくみ作り　まずは小さなエリアでも	―

◆ グループとしての意見

G	現状と課題	アクションアイデア	理想
1	・整備されているところ→機械化 ・それ以外→人手が必要	・インセンティブ（動機付け）　ポイント制度 〈例〉ふくおかポイント→福岡マラソンへの特別権利もあり	―
2	―	・JAと市役所　仕組み　70後半の活用　子育て世代のこだわりある母親　マッチング ・耕作放棄地のめんどうをみる主役シニアの活用　広くかかわったことのない方 ・病院にいかず畑へ　いやしや健康にもいい　しくみつくり ・Point　どっぷりはできないけど週２～３ｈでもできる人たちの活用 ・マッチングするしくみ　JAとのタイアップ　市からもそれぞれに人を集めて ・環境に関する団体を立ち上げる ステークホルダー：市民、民間企業、大学、研究機関、金融機関、ボランティア・ＮＰＯ、地域の団体、共創チャレンジの対象者、市…☒ ・①地域農業、環境維持→糸島ブランド、農産物基盤 ②無償→有償ボランティア　インセンティブ（動機付け）　（例）ふくおかポイント ③啓発活動　草刈りや水路清掃の意義→自然や景観の保全"☒ ・６　快適で住みよいまちづくり　（５）環境の保全＋αを中心に	―